

DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

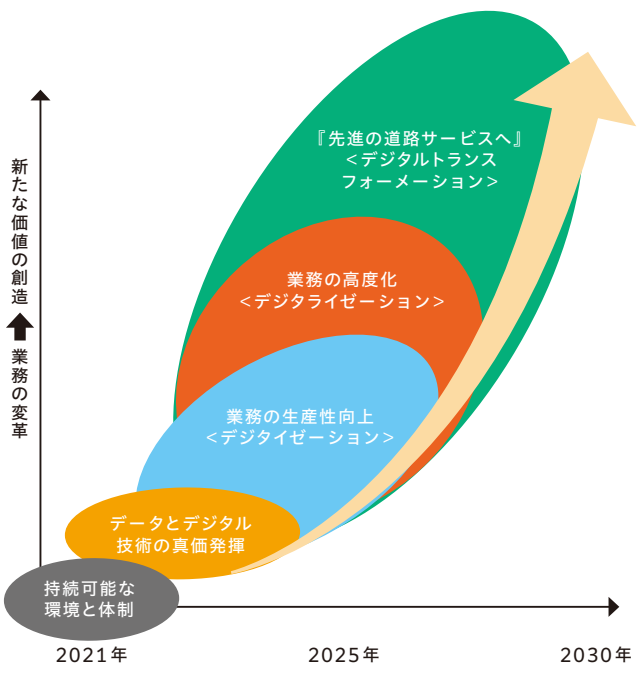
DX理念

阪神高速グループは、データとデジタル技術の利活用を通じて、業務の増大・高度化や社会環境の大きな変化に対応しながら、次の時代に相応しい道路資産、サービスおよび企業風土の構築を探求し、お客さまや現場を本位とした業務の変革や新たな価値の創造を実現します。

戦略項目：先進の道路サービスへ
データとデジタル技術による新たな価値の創造(デジタルトランスフォーメーション)を実現します。
戦略項目：業務の高度化
ツール(システム基盤)とルール(プロセス)を革新し、業務の変革(デジタルイゼーション)を進めます。
戦略項目：業務の生産性向上
あらゆる業務においてデジタル化(デジタルイゼーション)を浸透させます。
戦略項目：データとデジタル技術の真価発揮
いつでもどこでも誰もが利活用できるようデータのライフサイクル全般にわたるデータマネジメントの推進と、次世代型の概念・ハード・ソフト・サービスなどにより、データとデジタル技術の真の価値を発揮させます。
戦略項目：持続可能な環境と体制
役員社員一人ひとりにDXマインドを醸成し、デジタル情報を正しく理解・利用・活用できる人材を育成し、データとデジタル技術の利活用を推進できる体制を構築します。

DX基本方針

DX理念のもと、持続可能な環境と体制のもとで人材のマネジメントを確立しつつ、データとデジタル技術の真価を発揮させながら、あらゆる業務においてデジタル化を浸透させていくことで生産性を向上させ、ツール(システム基盤)とルール(プロセス)の革新により高度化を図り、『先進の道路サービスへ』を目指します。



シームレスで高度なインフラマネジメントの推進 ~サイバーインフラ・CIM~

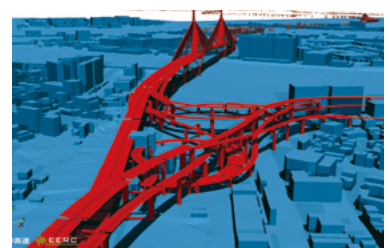
デジタル技術を活用し、道路のライフサイクル全般にわたるシームレスで高度なインフラマネジメントを推進します。

建設事業においては、生産性向上のためBIM/CIMなどの3次元データ化を推進するとともに、保全部門への展開を見据え、これらデータの取得・蓄積を一元化するプラットフォームの構築を目指します。

また、データ融合、予測技術を具備するサイバーインフラマネジメントを目指して、道路インフラを再現するデジタルツインモデルの精緻化を推進するとともに、サイバー空間における構造物の劣化予測や地震時シミュレーションなどにより、ストックマネジメントやリスクマネジメントを高度化し、安全性向上、価値創造に挑戦します。



ジャンクション建設におけるCIM活用事例



サイバー空間に構築した道路構造物